

当別町史

続編

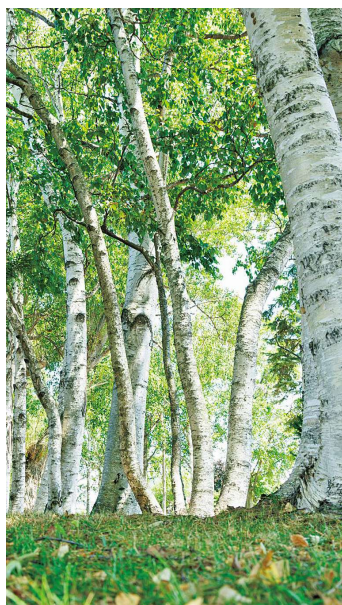
——当別町——

題字揮毫／当別町長 後藤正洋

ケース植物図／須崎忠助画「シラカンバ」(部分) 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター加藤克准教授による画像データ。原図は北海道大学植物園・博物館所蔵。シラカバは当別町の町樹
表紙地図／From the collections of the Geography and Map Division, Library of Congress, Washington, D.C., U.S.A. 国土地理院所有「伊能大図(米国)」図版データ
見返し／今井八九郎作と伝えられる「西蝦夷地石狩場所絵画」(宮下節氏による模写)。原図は江差町教育委員会所蔵



町花/かすみ草



町樹/シラカバ



町鳥/フクロウ



現在の本町市街地
美しい田園都市を目指して発展した



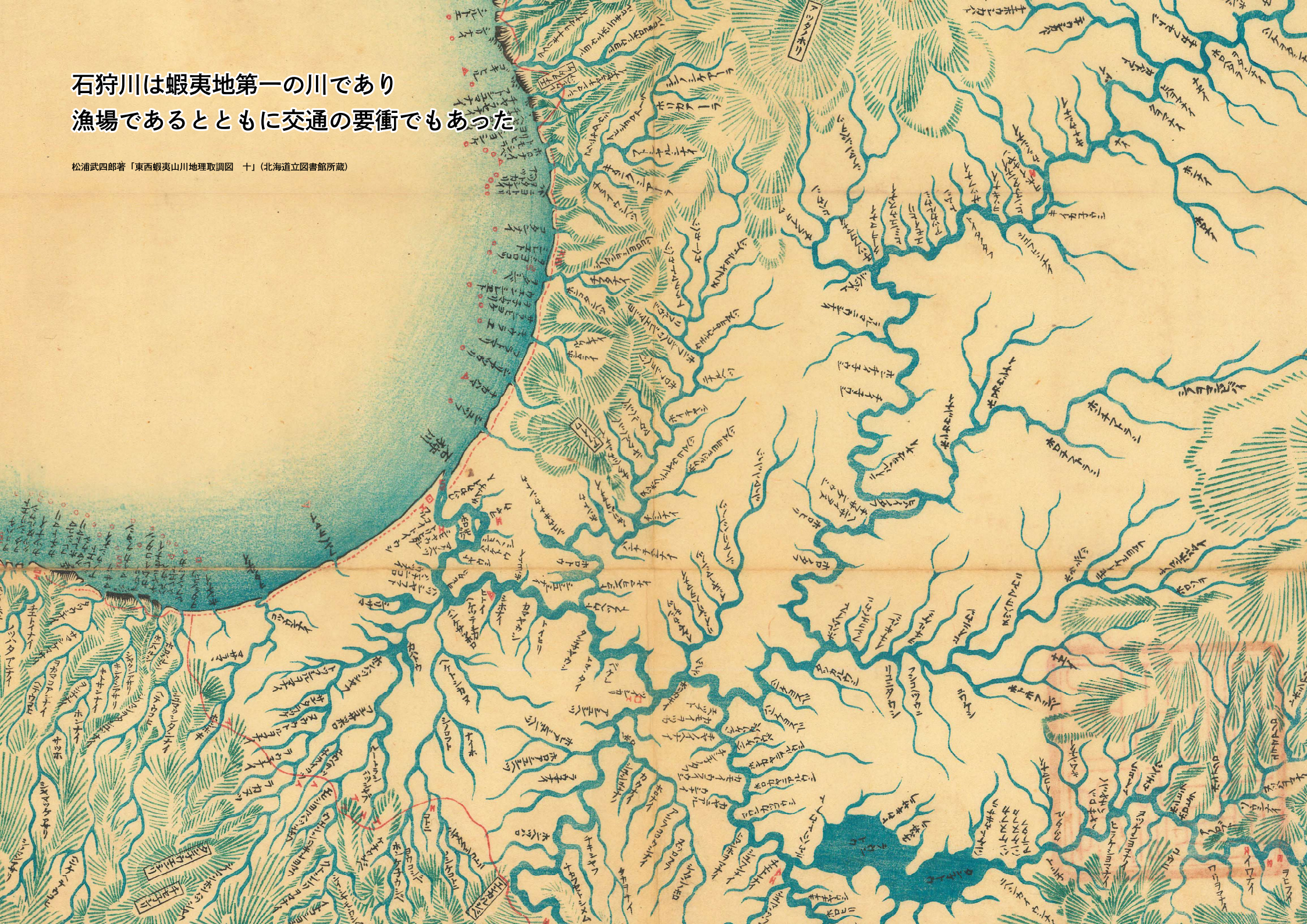
人口増加によって新たに
発展している太美市街地



道内外から移住者が集まる
緑豊かなスウェーデンヒルズ

石狩川は蝦夷地第一の川であり
漁場であるとともに交通の要衝でもあった

松浦武四郎著「東西蝦夷山川地理取調図 十」(北海道立図書館所蔵)





文学碑「石狩川」



伊達邸別館

開拓以来の歴史を伝える先人たちの足跡



当別神社



トウベツアカマツセイウチ復元図（足寄動物化石博物館 新村龍也博士提供）

太古から続く生き物と 人間の営みを伝える出土品



ひょうたん石（当別町一番川流域、新第三紀中新世一番川層）



トウベツアカマツセイウチ頭骨化石（大阪市立自然史博物館 田中嘉寛博士提供）



伊達山2遺跡の出土品



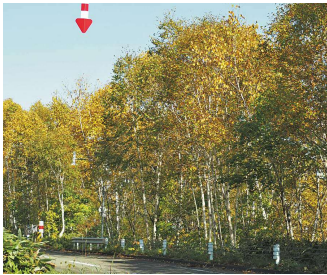
パンケチュウベシナイ川左岸から出土した須恵器



エゾキンボウゲ群落（青山奥）



ササ刈りによって春植物群落が再生した雑木林(北海道医療大学)



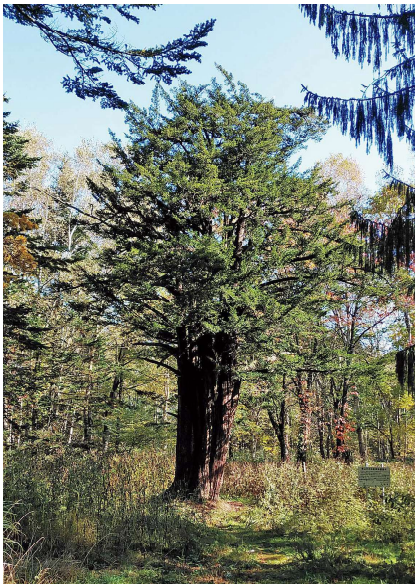
月形厚田線沿いの低標高ダケカンバ林



ふくろう湖と針広混交林



防風林に残る自然植生(東裏)



見晴らしの松（青山奥）

先人から受け継いできた
豊かで多様な植生が残る



太美防風林中央にオジロワシの巣



オオタカ



チュウヒ



オジロワシのつがい



エゾモモンガ

希少種の野鳥を含む
野生動物の生息地



オオジシギ



クマゲラ



当別市街本町通（大正9年）

戦後の経済発展とともに
農村も市街地も変貌した



昭和28年当時の市街地風景



当別灌漑構第2導水門と余水堰（大正末期）



美原の用水場（昭和34年）



北欧の風 道の駅とうべつ

道の駅とJRの新駅の開業は
観光の活性化にもつながった



ロイズタウン駅



櫓を囲む夏のひととき
花火が夜空を彩る



祭りばやしに誘われて
いつの時代も神輿に心が騒ぐ





当別ダムにより生まれたふくろう湖は
新緑から紅葉まで美しい表情を見せる



阿蘇公園の桜



豊かに実った小麦



あいあい公園



あそ雪の広場



夏至祭



レクサンド記念公園



小中一貫の義務教育学校とうべつ学園



認定こども園 おとぎのくに



花き栽培



札幌大橋の上空から見た風景



田植え



道民の森神居尻地区

発刊のことば 「稽古照今」



当別町長 後藤 正洋

当別町は、1871（明治4）年に仙台藩岩出山家当主伊達邦直公が家臣を率いてこの地に入植して以来、多くの先人たちの尽力とたゆまぬ努力によって今日まで発展を遂げて参りました。

この歴史ある町が2021（令和3）年に開拓150周年を迎えたことを記念し、このたび『当別町史 続編』を刊行する運びとなりました。

当別町ではこれまで、『當別村史』（昭和13年3月）、『100年のあゆみ 当別小史』（昭和45年9月）、『当別町史』（昭和47年5月）の計3度にわたり自治体史の編さんを行って参りました。

最初の『當別村史』は伊達邦直公による当別移住50年を記念して編さんされたものであり、続く『当別小史』と『当別町史』は開拓100年を記念した刊行物として町の歩みを記録したものです。

前回の町史刊行からすでに半世紀が経過し、この間に町はさらに大きく変化を遂げてきました。本来であれば、町史の全面的な見直しを行うべきではありますが、限られた時間と経費の中で、今回は開拓100年以降の出来事を中心に据え、「前町史の続編」という形で編さんを進めて参りました。

この度、新たな視点で町の歩みを振り返る本書が完成したことは、当別町の歴史を次代に伝えるうえで大きな意義を持つものと確信しており

ます。

「稽古照今」、古(いにしえ)を稽(かんが)え、今を照らす。この熟語は今から1300年前に著された『古事記』に由来する言葉ですが、「当別開拓に示された先人たちの開拓者精神に学び、当別の未来に活かしていただきたいという思いで」委員の皆さんに編さんしていただきました。

ぜひ多くの皆様に本町史を手にとっていただき、当別の歴史に触れるとともに、過去を知り、現在を見つめることで、先人たちの知恵と経験を未来へ活かす一助としていただければ幸いに存じます。

最後に、本町史が発刊に至るまでの7年という長きにわたり、編さん委員の皆様をはじめとして、貴重な資料をご提供いただくなど、多くの町民の皆様方のご尽力に敬意を表し、心より御礼申し上げまして、発刊に当たっての言葉と致します。



当別町役場



町章



町議会

当別町史 続編◎目 次

発刊のことば「稽古照今」

第1部 自然環境

第1章 気 候

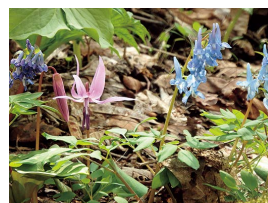
第1節 当別町の気候 3

第2章 地形・地質・土壌

第1節 地形 7

第2節 地質 10

第3節 土壌 20



第3章 植 物

第1節 南部地域の植生分布 25

第2節 中北部地域の植生 34

第3節 特筆すべき植生と場所、取り組み 42

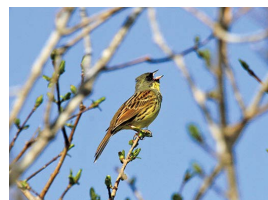
第4章 動 物

第1節 哺乳類・両生類・爬虫類 49

第2節 鳥類 60

第3節 魚類および底生動物 76

第4節 昆虫 81



第2部 1970年代までの当別

第1章 当別町の遺跡

第1節 遺跡と出土遺物 87

第2節 各地区の遺跡 90

第3節 石狩低地帯の歴史と当別町の遺跡 100



第2章 幕末までの当別

第1節 和人の記録に見るイシカリ 115

第3章 当別村時代

第1節 明治初期の当別地方と岩出山伊達家の入植 127

- 第2節 戸長役場時代の当別 140
- 第3節 北海道庁による当別の土地処分事業 146
- 第4節 北海道二級町村制時代の当別 150
- 第5節 北海道一級町村制時代の当別 153
- 第6節 戦時体制下の当別村 159

第4章 戦後の当別町—1945年から1970年まで

- 第1節 戦後の復興 165
- 第2節 地方自治法の施行と町政の再編 174
- 第3節 まちの出来事 179



第3部 本編——1970年代から2020年代まで

第1章 行 政

- 第1節 人口の推移 187
- 第2節 町長選挙と各町長の取り組み 190
- 第3節 町議会議員選挙 197
- 第4節 総合計画など 202
- 第5節 財政の推移 225
- 第6節 記念事業 237
- 第7節 自衛隊 242



第2章 町民活動と都市交流

- 第1節 自治会活動など 247
- 第2節 都市交流 256



第3章 福祉と生活

- 第1節 社会福祉等 263
- 第2節 医療・保健 327
- 第3節 保険制度 362
- 第4節 衛生と環境保全 374
- 第5節 除雪対策 388

第4章 教 育

- 第1節 教育制度等 395
- 第2節 学校教育 409
- 第3節 社会教育 449



第4節 文化財と文化活動 469

第5章 社会的インフラストラクチャーの整備

第1節 都市計画と市街地の形成 487

第2節 交通網の変遷 503

第3節 治水事業 528

第4節 郵便・通信事業 531

第5節 公営住宅 536

第6節 上下水道の整備 539



第6章 産 業

第1節 第1次産業 543

第2節 第2次産業 588

第3節 第3次産業 596

第4節 観光 607

第5節 北欧の風 道の駅とうべつ 618

第6節 再生可能エネルギー 625

第7節 企業誘致 630



第7章 宗 教

第1節 宗教・民俗信仰 633

第8章 防災・消防・防犯及び交通安全

第1節 防災 663

第2節 消防 672

第3節 防犯及び交通安全 677



第9章 当別ダム

第1節 概要 681

第2節 ダム建設の経緯 684

第3節 当別ダムの完成 692

資料編 701

年表 711

編集後記 728

